

お役立ち情報

～鹿児島県農業で活用いただきたい新品种・新技術～

サトウキビ

多収品種「農林18号」の栽培特性

熊毛支場



左: 農林18号 右: 農林8号

特性

- 初期生育が旺盛で無マルチ栽培が可能
- 多収で多回株出し栽培に対応した品種

栽培ポイント

- ◇乱倒伏しやすいので、培土は8号より2～3週早めに
- ◇黒穂病に弱いので、圃場を分散させるなど注意が必要

サトウキビ

「農林8号」の適期株出し管理による増収技術

熊毛支場



左: 収穫2カ月後 右: 収穫1カ月後
株出し管理時期による萌芽数の違い

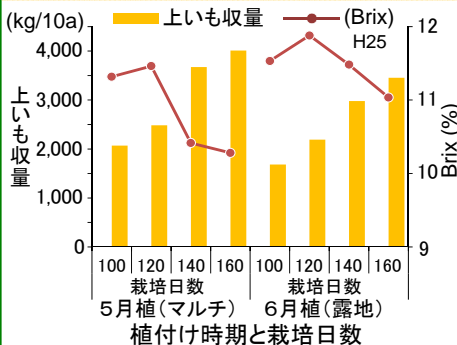
栽培ポイント

- ◇刈取直後から1カ月以内の株出し管理により、萌芽や初期生育を促進し、原料茎数を確保
- ◇株出し管理では、株揃え・根切排土・マルチ被覆を確実に実施
- ◇株出し管理が遅れ、収穫2カ月になると、10～40%減収

青果用さつまいも

「安納紅」糖度から見た収穫適期

熊毛支場



栽培日数130日目

栽培のポイント

- ◇糖度 (Brix) から見た収穫適期は、栽培日数120～140日で、上いも収量 2,500～3,000kg/10aの時期
- ◇3,500kg/10a以上の多収になると、いもの水分含有率が高まり糖度が低下

茶

走り新茶 蒸し度判定に活用できる蒸葉カラスケール

茶業部

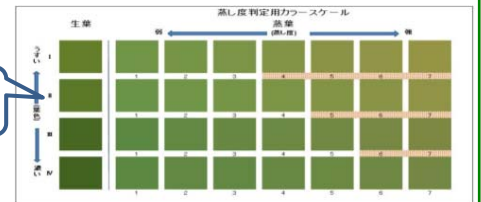


蒸葉と蒸葉カラスケールの判定

技術ポイント

- ◇蒸葉の色は、荒茶の外観や水色の重要指標
- ◇蒸葉カラスケールの葉色判定で、適切な蒸し度を判定

蒸葉カラスケール



適応工場

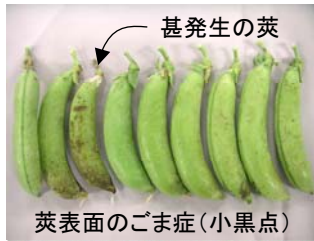
- 走り新茶産地で強蒸し～深蒸し茶製造茶工場



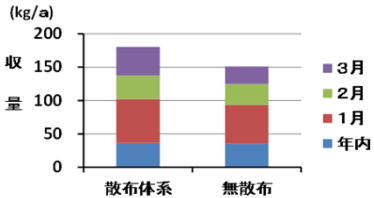
スナップエンドウ

うどんこ病防除による「ごま症」の発生抑制

生産環境部・熊毛支場



英表面のごま症(小黒点)



散布体系: 効果のある薬剤6種類を年内から3月まで定期的に散布
無散布: 病害に効果のある薬剤は散布なし

特性

- ごま症は、気温の上昇する2月頃から発生
- 主な要因は、うどんこ病菌であり、うどんこ病防除で発生を抑制

技術ポイント

- ◇ごま症の発生は、2~3月に多いが、年内からのうどんこ病防除が重要
- ◇同一薬剤の連用を避け、異なる薬剤で体系防除

スナップエンドウ

間断散水氷結法による霜害対策

熊毛支場



英表面に生じた霜害(白斑)



自動散水・止水装置

技術ポイント

- ◇準無霜地帯(最低気温が-1℃以下になることが少ない地帯)では、英の霜害防止に有効
- ◇最低気温が-2℃以下では、英に対する霜害防止効果はないが、心止まりの発生を抑制

タンカン

安定生産が可能なトロイヤースイトレンジ台木

果樹部



カラタチ台

トロイヤースイトレンジ台

特性

- 冬季の異常落葉が軽減し、樹勢安定
- 隔年結果の振幅が小さく収量が安定
- 果実品質(糖・酸)はカラタチ台と同等
- ◇トロイヤースイトレンジ台タンカン「垂水1号」の苗木生産等を開始

マンゴー

チャノキイロアザミウマの天敵による防除法

果樹部



アザミウマ幼虫を捕食しているスワルスキーカブリダニ(天敵)



天敵梱包製剤

天敵で害虫を退治!

チャノキイロアザミウマ



マンゴーの一被害果実

技術ポイント

- ◇放飼時期は発芽期(ハウス内温度15℃以上)が有効
- ◇放飼前にはチャノキイロアザミウマ密度をほぼゼロ状態に
- ◇果実肥大期にはチャノキイロアザミウマの増殖源となる不用な新芽を除去

肉用牛

高タンパク低脂肪代用乳を用いた哺乳技術

畜産試験場 大家畜部



技術ポイント

- ◇生時体重30kg以上と30kg未満の2つの体系
- ◇代用乳希釈倍率は5倍
- ◇生後7日齢から人工哺育
- ◇最大給与量は1,200g/日
- ◇基本哺乳日数は生後49日

効果

- 高蛋白低脂肪代用乳(CP28%, FAT18%)の給与(強化哺育)で哺育期の子牛の発育に影響を及ぼすインスリン様成長因子濃度が高まり、骨や筋肉の発達を促進

肉用牛

本県歴代最高の脂肪交雑成績「秀幸福」号

肉用牛改良研究所



特徴

- 脂肪交雑の育種価が本県1位(H27.5)
- 枝肉のロース芯も大きく、歩留りも高い

交配対象(雌牛の父)

- ◇華春福, 勝忠平, 安福久, 安糸福, 隆之國など

ひでさちふく

「秀幸福」

【血統】

金幸福-百合茂-谷照

【生年月日】

H21.10.19生



産子の枝肉状況 (BMS No.11)